

## 平成26年度第2回花巻新渡戸記念館運営協議会会議録

- 1 日 時 平成27年2月27日（金）午後1時30分～3時
- 2 場 所 花巻新渡戸記念館事務室
- 3 出席者  
(1) 委員：木村清且委員（会長）、内館勝人委員（副会長）、伊藤新一委員、小原幸子委員、上村正三郎委員、福盛田弘委員（計6名）  
（欠席委員：杉本摂子委員）  
(2) 市側：嶽間沢茂新渡戸記念館長、小原弘道副館長、林秀学芸調査員
- 4 担当者 議長：会長、進行：副館長、記録：学芸調査員

### ●会議の傍聴希望について

#### ○副館長

本日、当会議の傍聴希望の方が1名いらっしゃいます。岩手日日新聞の記者の方が傍聴希望でいらしております。傍聴の許可について、木村会長にお伺いしますがよろしいでしょうか。

#### ○木村会長

許可します。

#### ○副館長

それでは、入室していただきます。

## 5 会議の顛末

### ●会議成立の報告

#### ○副館長

予定の時刻になりましたので始めさせていただきます。本日はこのような荒れ模様の中ご出席くださりまして誠にありがとうございます。それでは最初に、本日の会議の成立についてご報告いたします。本日欠席の知らせがありましたのは、杉本摂子委員様のみでございます。従いまして過半数以上の出席をいただいておりますので、新渡戸記念館管理運営規則第7条第2項の規定により会議が成立しているということを報告いたします。

### ●開会

#### ○副館長

それではこれより平成26年度第2回花巻新渡戸記念館運営協議会を開催いたします。最初に開会にあたりまして、当館の嶽間澤館長よりあいさつ申し上げます。

#### ○館長

今年度第2回目の運営協議会、寒い中おいでいただきまして誠にありがとうございます。26年度も残す所あと1ヶ月となりましたけれども、入館者が1万3千人台になるという予想でございます。震災の後の様々なイベント、NHKドラマの関係など年によって東北あるいは岩手県に対する観光客の入りに影響されているように感じております。次年度末あたりには開館

以来50万人目の入館者を迎えるという状況ではありますが、入館者数に関しては若干厳しくなっているように感じております。本日は観光協会の伊藤委員にもお越しいただきましたので、再び「あったかいはん号」のコース復活についてもお願いしたいと思っております。特に県外からいらした観光客の皆さんに紹介していきたいと思っております。

次に今年度の取り組みについて何点かお話をさせていただきたいと思っております。力を入れてきましたのが教育現場、小、中、高校への教育普及活動でございます。4月、5月と花巻市、北上市、遠野市合わせて78校を訪問させていただきました。今年度は、まず先生たちに当館の内容について知っていただくことが子供達に伝える前提じゃないかと思ひまして、1,976名の教員にパンフレットと私のメッセージを全職員に配布して読んでいただけるように校長先生を通してお願いしてまいりました。年度始めの案内でしたのでその年に計画することも難しいことだろうと思ひますが、市内の小学校、中学校が見学を訪れるなど反応も徐々に出てきております。

それから10月に新渡戸フェスティバルとして高校生を対象とした教室を開催しました。一昨年は中学生を対象とし100名の参加者がありました。昨年は小学生を対象とし12名の参加でした。今年は高校生を対象として近隣の高校7校、3,445人にパンフレットを作成し全員に配布しました。しかし今回は5名の参加のみでがっかりしましたが、中には校長先生自ら生徒会長を連れて参加してくれた学校もありました。小学校を始め中学校や高校生にも「こういった優れた人物が岩手県の先人で、花巻に関わりがあるんだ」ということを知らせる機会となり、いつの日か関心を持ってくれる時が来るものと期待しております。今年度は、急にその結果が現れることはありませんでしたけれども、今後楽しみにしてまいりたいと思っております。

お手元に12月に完成した新渡戸稲造の小冊子がございます。これは盛岡タイムスが編集・作成したものです。その原稿は花巻に関わることは私、盛岡に関わることは先人記念館の千田館長と新渡戸基金の藤井さんの3人で執筆しました。無料で配布してまいりまして、市内の小中学校には既に届けましたし、銀行の窓口にも置かせてもらっております。また来館された方でも希望される方にも無料配布してまいります。現在、残りが200部ほどございます。

ほかにも次年度に向けて、稲造の生涯展の展示パネルを見やすく、劣化したものを取り替えるなどの小規模なリニューアルを予定しております。

新年度については、4月から8月の特別展は「佐藤昌介と新渡戸稲造～その札幌農学校時代」と題しまして、その交友関係を紹介したいと思っております。ともに花巻にゆかりのある人物です。東京、札幌、アメリカで新渡戸稲造の人生の前半に大きな影響を与えたのが佐藤昌介であり、後半は後藤新平と言われております。昌介と稲造の札幌農学校時代の写真や指導者として戻ってきた時の写真をパネル展として展示したいと思っております。

佐藤昌介については、岩手県でも取り上げる機会はなかなか少ないのではないかと思います。今回、新渡戸稲造との関わりについて取り上げます。過日、北海道大学にお邪魔しましてメディア媒体で様々な写真を借りてまいりました。2人の交友関係を8月末までの予定で展示したいと思っております。

あとは新渡戸傳についての企画展等も考えておりますので、委員の皆さま、ご支援をお願いしたいと思います。それでは今年度の反省を踏まえて、ご意見よろしくお願ひいたします。

以上でございます。

## ○副館長

続きまして、木村会長からひとことお願いいたします。

## ○木村会長

皆さまご苦勞様でございます。第2回花巻新渡戸記念館運営協議会ということですが、館長さんから今年度の事業、また次年度についても少しお話がありました。ここ最近のことですが、まちづくりに関連して古いものを大事にしていきたいということで、館街道に残る伊藤家や松川家などを3回ほど公開してPRしてきました。このような200石規模の南部藩御給人の武家屋敷は、ここ以外にはほぼ残っておらず、非常に大事な場所だと考えています。先人のいろんな活動が現在につながっていると思いますので、そういったことを大事にしながらかまちづくりを進めていくべきだと思います。

また新年度は、宮沢賢治生誕120年の節目の前年にあたります。多くの皆さんに花巻に関心を持っていただける良い機会だと思います。さらに先ほどの館長の話の中で、次年度事業に関して昌介先生と稲造先生について話されていました。実は、私が管理している御田屋町の菊池捍氏旧邸の中の資料に、昌介と稲造の2人と一緒に写っているものがあります。もし何かのお役に立つようでしたらぜひお使いいただきたいと思います。

今日は委員の皆さんに協議事項2つのことをチェックしていただきまして、ご意見をいただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。

## ○副館長

ありがとうございました。それでは協議に入ります。規則によりこの会議の議長は会長が務めることになってございます。会の進行につきましてよろしくをお願いいたします。

## ●協議

### ○議長（木村会長）

それでは協議事項1の平成26年度事業及び利用状況等の報告について、事務局から説明をお願いいたします。

### ○副館長

資料に基づき、平成26年度事業及び利用状況について説明する。

### ○議長（木村会長）

ありがとうございます。ただいま、事務局から事業及び利用状況等の説明がありました。委員の皆さまからご意見をたまわりたいと思います。

### ○福盛田委員

移動研修について、30人の募集の中で何人の参加があったのですか。

### ○副館長

今回は例年と違って参加者が少なく、20名弱の参加でした。

### ○福盛田委員

研修先がこの近辺だったので魅力がなく人が集まらなかったのだと思います。計画を立てる段階でそういったことも考える必要があろうかと思います。

### ○副館長

次年度は今年度の反省を踏まえて立案してまいります。

### ○小原委員

市内巡りのバスツアーやスタンプラリーは今年度もやったのでしょうか。賢治記念館がリニューアル中ですが、今回は参加されたのでしょうか。

○館長

バスツアーは、共同企画展の期間中2回開催しております。

○副館長

スタンプラリーについては、賢治記念館は改修中のため含まれていませんでしたが、当館ではラリー達成者の方が4名おられ、それぞれ記念品を差し上げました。

○小原委員

来年は賢治記念館のリニューアルオープンもありますし、期待できますね。

○副館長

大いに期待したいと思います。

○小原委員

広報活動の成果が次年度以降出ることも期待しています。

○副館長

今年度市内公民館の高齢者学級や婦人学級の移動研修で2団体、同じく盛岡から3団体の利用がありました。地道な広報にはなりますが、多少は成果が表れているものと思います。

○上村委員

入館者の低迷の原因は教育現場にあるのではないかと考えています。教育に携わる人間に対する情報提供が大切ではないかと思えます。

○館長

おっしゃるとおりだと思います。学校現場の先生方に知ってもらわなければ子供達にも伝わらないと思えます。子供達に直接呼びかけてもなかなか反応が薄いものですから学校訪問は毎年続けたいと思っております。また来年度はタクシーの乗務員、再来年は旅館の従業員に向けてのご案内を考えております。

入館者数については低迷という捉え方もありましようが、盛岡先人記念館の入館者は当館より1,000人ほど少ない入館者数になっております。そして原敬記念館の入館者数が約8,000人、後藤新平記念館は約4,000人ほどでありまして、当館の入館者数はその中で健闘しているほうではないかと考えます。

○上村委員

次回特別展との関連ですが、札幌の巖鷲協会との関係はいかになっていますか。

○館長

相互に様々な資料の提供をしております。

○議長（木村会長）

ほかになれば、次の議題に移ります。平成27年度事業計画について、事務局から説明をお願いします。

○副館長

資料に基づき、平成27年度事業計画について説明する。

○議長（木村会長）

ありがとうございます。ただいま事務局から説明がありました。皆さんからご意見を承ります。一般を対象とした新渡戸講座の場所はどちらになりますか。

## ○副館長

当館には講座スペースがありませんので、イーハトーブ館や博物館などを考えておりますが、4回目だけは当館を会場にやりたいと思っています。

## ○館長

ロビーに椅子を並べて開催するしかないので、企画展スペースとの兼ね合いも考えなければなりません。できれば他館ではなくここでやりたい。

## ○福盛田委員

新渡戸稲造と佐藤昌介の関係ですが、花巻にも佐藤昌介顕彰会があるので、その中でもPRしていけたら良いですね。次の企画展のパンフレットも配れると理想的だと思います。

## ○館長

顕彰会には連絡差し上げたいと思います。今回の企画展は、学生時代や教授時代の2人が写っている写真がメインで、稲造が亡くなった3年後に追悼集が出た中から17点ほど抜粋して紹介したいと考えています。

## ○小原委員

特別公演の際には、お茶会もありますか。

## ○副館長

5月の郷土芸能大会と10月の新渡戸フェスティバルに合わせて地元の方の協力をいただいております。

## ○福盛田委員

伊藤委員にお尋ねしますが、「あったかいなはん号」のコースから新渡戸記念館が外れたのはなぜでしょうか。

## ○伊藤委員

外したという語弊がありますが、お客様がお金を払って乗車なさいますし、コースの中に入っている館は有料です。お客様が花巻に来た際に寄りたい所とか、特徴的な企画をしている所を入れているつもりです。今までやってきてお客様に一番不評だったのは、色んな場所を巡って修学旅行のようで疲れるということで、できればピンポイントでピックアップしてほしいとのことでした。それで全館は入れることができないので、その年によって違うコース作成をしています。結果、去年は新渡戸記念館が対象外となりました。

例えば、何周年記念にあたりとか、特別な企画展があつてそれを見せたいとかであれば、お客様や旅行代理店の希望に依らずにコースを設定する場合もあるが、基本的にはお客様の声だということをご理解いただきたいと思います。ただ先ほど館長さんが学校訪問などして入館者を増やすためにいろいろ頑張っておられるのも今日来てわかりましたので、なんとか下期にむけて考慮したいと思います。

観光の目線で見れば、台湾のチャーター便が飛んできていますので、例えば新渡戸稲造の台湾総督府時代を紹介すれば、台湾に帰られる前に私どもが案内・見学してもらえれば興味を持ってもらえるのではないのでしょうか。今後そういった企画を打ち合わせや会合で提案していこうと思います。また国際連盟時代の活躍について、領有権争いの新渡戸裁定の部分ですが、紛争の絶えないこの時代においても誇りに思える人物だと思います。観光協会としては外国からのお客様を集客するにあたってそういった紹介ができれば良いと思っています。

お断りですが、今年の4月から9月の「あったかいなはん号」の運行については、5ヶ月前

に設定しなければいけない関係で、今回は新渡戸記念館は含まれませんでした。ただ、このたび西和賀町にあった公民館が台湾に移築されてあるそうです。そこをお願いして小さくても紹介スペースをお願いしても良いのかとも考えています。

**○館長**

稲造に関する台湾での資料はなかなかございませんが、台湾での活躍を紹介することは可能ですので、当館としてもいろいろと考えていこうと思います。

**○福盛田委員**

観光協会では新渡戸ロードはどのように活用していますか。

**○伊藤委員**

特に協会としてお客様を案内することはしておりません。

**○内館委員**

世界平和の関係ですけれども、日本人が評価する新渡戸さんと台湾の方が評価する新渡戸さんとは違う面があるかなと思います。賢治さんも世界平和を考えていた方ですし、精神論的に紹介できたら良いのかもかもしれません。新渡戸記念館が他館と連携しながら花巻から世界平和を発信するといったことも良いのではないのでしょうか。また 年表の充実をお願いしておりますので、進めていってほしいと思います。

**○館長**

次回企画展で佐藤昌介と新渡戸稲造を対比させた年表を新規作成予定です。

**○議長(木村会長)**

友の会の会則などを決めて、正規に募集したらどうですか。

**○館長**

最初は、教職員に向けて当館の催し物などの情報提供をしたいと考えた会でしたが、いろいろ声をかけましたが募集はなかったので、一般の方への募集もしていこうと思います。

**○議長(木村会長)**

それではその他の事項について事務局からお願いします。

**○副館長**

4月に実施予定のハナミズキの植樹について説明

**○議長(木村会長)**

ありがとうございます。皆様からほかに何かありますか。ないようなので、これで本日の協議を終わります。

**○副館長**

本日は長時間にわたりありがとうございます。それでは以上をもちまして本日の運営協議会を終わります。